

2020年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

大賞

ほん もり なか の しま あん どう ただ お こども本の森 中之島 と 安藤 忠雄

本や芸術文化を通じて子どもたちが豊かな創造力を育むための施設として、絵本や児童書などを揃えた「こども本の森 中之島」が2020年7月に開館した。同館の整備は、建築家の安藤忠雄氏が自ら設計・建築する建物を市に寄附するという申出により実現したもので、運営費用も自らが呼びかけ寄附を募った。大阪都心、中之島の新たな文化拠点として、さらなるにぎわいの創出にも貢献することが期待される。



photo by 関野 欣次

特別賞

し が けん りつ けいじゅつげきじょう こ 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

コロナ禍でクラシックのコンサートやオペラ公演が相次いで中止や延期となる中、2020年3月にワーグナーの大作オペラ『神々の黄昏』を無観客で上演し、動画配信サイトYouTubeで無料生中継（配信）したところ、2日間で約41万人が視聴。コロナ禍での文化イベントのあり方に一石を投じ、多くの人に舞台芸術の素晴らしさ・力を伝え、元気を与えた。



写真提供:びわ湖ホール



写真提供:びわ湖ホール

ニューパワー賞

ミルクボーイ

大阪市出身の駒場孝と兵庫県姫路市出身の内海崇によるお笑いコンビ。M-1グランプリ2019では、史上最高得点を獲得しての優勝が話題になり、一気に全国区の人気者となった。また、2020年1月には第五回上方漫才協会大賞の話題賞を受賞。大阪市天王寺区の「住みます芸人」として地域の盛り上げにも貢献しており、今後も関西からの活躍が大いに期待される。



た なか のぞみ 田中 希実

兵庫県小野市出身の陸上競技選手。陸上選手であった両親の影響で中学校から陸上競技を始め、中学、高校在学時から多数の全国大会で上位入賞している。中長距離を得意とし、2020年は女子3,000m、女子1,500mで日本記録を立て続けに更新。12月には第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目の女子5,000mで優勝し、東京オリンピック同種目日本代表に内定した。陸上競技界の未来を担う選手であり、今後の活躍も大いに期待される。



ちーむいなり TEAM INARI

2020年8月、募集があった5,894作品の中から大阪市出身のシマダタモツ氏が代表を務めるTEAM INARIが考案したデザインが2025年大阪・関西万博のロゴマークに選出された。最終選考に残った5作品の中でも異色を放つ特徴的なデザインにより世間の関心を集め、万博の知名度向上や機運の醸成にも貢献している。TEAM INARIの活躍をきっかけに、今後、関西のクリエイターのパワーが全国に発信されることも期待される。



な ら けん りつ がっ こう えん げき ぶ 奈良県立ろう学校 演劇部

「表現の世界に障がいの壁はない」をモットーに、2004年の創部から活動を続け17年目を迎える。全国初の「手話言語条例」を制定した鳥取県で開催される全国高校生手話パフォーマンス甲子園に2014年から連続出場している。手話を用いた演劇や歌などを披露し、その表現力や手話の正確性を競い、2020年9月に開催された第7回大会では、せりふや心情を手話と体全体を使って表現した演劇で高い評価を受け、第2回大会、第4回大会に続き、3度目となる優勝を果たした。障がいのあるなしに関係なく、体いっばいに表現する演劇部員の姿は、多くの人に元気と感動を与えており、今後ますますの活躍が期待される。

